

平成 28 年度第 3 回文京区地域福祉推進本部 次第

日時：平成 28 年 8 月 24 日（水）9 時 30 分～

場所：庁議室

1 開会

2 議題

分野別計画の策定に向けた実態調査の調査項目について

3 閉会

《配付資料》

【資料第 1 号】 高齢者等実態調査の調査項目について

【資料第 2 号】 障害者（児）実態・意向調査の調査項目について

【資料第 3 号】 健康に関するニーズ調査の調査項目について

高齢者等実態調査の調査項目について

1 目的

文京区の65歳以上の高齢者及び家族の生活実態や意識、介護サービスの利用状況等に加え、様々な分野の地域活動の主体として期待されるミドル・シニア世代の意識や意向及び介護サービスを提供する事業所の実情等を把握することによって、高齢者・介護保険事業計画（平成30年度～平成32年度）の策定に必要な基礎資料を得ることを目的として実施する。

2 調査の種類、対象者等

(1) 区民向け調査

調査名	対象者	調査実施数	対象者数
第1号被保険者調査	要介護・要支援認定を受けていない 65歳以上の被保険者	約3,000人 無作為抽出	約34,000人
ミドル・シニア世代調査	要介護・要支援認定を受けていない 50～64歳の被保険者	約2,500人 無作為抽出	約36,000人
要介護・要支援認定者調査	在宅で、要介護・要支援認定を受けて いる65歳以上の被保険者	約3,000人 無作為抽出	約7,000人

(2) 事業所向け調査

調査名	対象者	調査実施数	対象者数
事業所調査	区内の介護サービス事業所	約200事業所 全数	約200 事業所

3 調査項目

(1) 区民向け調査

別添資料1のとおり

(2) 事業所向け調査

別添資料2のとおり

4 調査方法

アンケート（郵送配布・郵送回収）方式

5 調査時期

平成28年10月実施予定

6 今後のスケジュール

平成 28 年	9 月	第 3 回高齢者・介護保険部会（調査項目の報告） 9 月議会（調査項目の報告） 区報 9/25 号
	10 月	調査票発送・回収
	11 月	集計・分析
	12 月	第 4 回高齢者・介護保険部会（調査結果の報告）
平成 29 年	1 月	第 4 回地域福祉推進本部（調査結果の報告） 第 3 回地域福祉推進協議会（調査結果の報告）
	2 月	2 月議会（調査結果の報告）
	3 月	調査報告書納品

区民向け調査項目

カテゴリー		設問No.	調査項目	①1号被 保険者	②ミドル・ シニア	③要介護 等認定者
大分類	小分類					
基情 礎報		F1	調査票の記入者			○
		F2	性別、年齢	○	○	○
		F3	同居者の有無	○		○
		F3-1	同居の方は全員が65歳以上か	○		○
		F4	要介護度			○
地域包括 ケア	住まい	1	住まいの形態	○	○	○
		2	現在の住まいは、(今後介護が必要な状態になった場合に)住み続けられる住まいか	○	○	○
		3	現在の住まいに関して、不便や不安に感じていること	○	○	○
	医療	4	かかりつけ医の医療機関等	○	○	○
		5	現在治療中の病気			○
		6	訪問による治療の受診状況	○		○
		6-1	【治療を受けている者】治療の診療科	○		○
	介護①	7	(介護が必要になっても)安心して住み慣れた地域で暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えるか	○	○	○
		8	(介護が必要になった場合)暮らし方の希望	○	○	○
		9	終末期についての意向	○	○	○
		9-1	自宅で最期まで療養するために必要なこと	○	○	○
		10	高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと	○	○	○
		11	家族又は身近な方への介護経験		○	
		12	(現在)介護保険サービスの利用経験			○
		12-1	【利用者】今後の保険サービスと介護保険料のあり方 【未利用者】(介護保険サービスを)利用していない(しなくなった)理由			○
	12-2	【利用者】介護保険料が上がる場合、どのようなサービスの充実を望むか 【未利用者】今後利用したい介護保険サービス			○	
	健康増進 (介護予防)	13	現在の健康状況	○	○	○
		14	健康の維持・増進のため、日頃からの取組(今後の取組意向を含む)	○	○	○
		14-1	【取り組んでいる者】取組のきっかけ 【取り組んでいない者】取り組まない理由	○	○	○
生活支援	15	一人でできない動作			○	
	16	対象者自身についての現在の状況(歩行や転倒、食事、栄養、口の健康等)	○		○	
	17	外出の頻度			○	
	18	現在の生活で不安に感じていること	○	○	○	
	19	日常生活の中で相談する相手	○		○	

カテゴリー		設問No.	調査項目	①1号被 保険者	②ミドル・ シニア	③要介護 等認定者
大分類	小分類					
元 気	就業	20	今後の就労の継続意向	○	○	
		20-1	【継続希望者】希望する就労形態	○	○	
		20-2	【継続希望者】就労継続の理由	○	○	
	地域活動	21	参加してみたい、興味があるボランティア活動	○	○	
		22	地域の中で参加している(今後参加してみたい)グループ活動として行われる余暇活動、社会参加・貢献活動	○	○	
		23	定期的に参加している活動団体・グループ	○	○	
		23-1	【参加者】現在、参加している活動を始めたきっかけ	○	○	
23-2	【非参加者】参加していない・参加したいとは思わない理由	○	○			
事 業 周 知	認知症	24	【認知症なし】認知症の理解に関すること	○	○	○
			【認知症あり】暮らしの支援に関すること			○
		24-1	認知症に関する相談窓口	○	○	○
	24-2	区の認知症に関する事業の認知状況	○	○	○	
	地域包括 支援センター	25	高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)の認知状況	○	○	○
	災害対策	26	災害に対する不安に関すること	○	○	○
27		災害発生時の備えに関すること	○	○	○	
介 護 離 職	介護②	28	家族等からの介護の頻度			○
		29	介護者の性別と年齢、本人との関係(続柄)に関すること			○
		30	介護者が行っている介護等			○
		31	家族・親族の離職状況			○
		32	介護保険サービス以外の利用状況			○
		33	在宅生活の継続に必要な支援・サービス			○
	介護者負担	34	介護者の現在の勤務形態			○
		34-1	【働いている者】介護者の今後の就労継続の可否について			○
		35	介護者が不安に感じる介護			○
		36	介護者の相談相手			○

各質問数(枝質問を含む)

33

28

44

事業所向け調査項目

カテゴリー	設問No.	調査項目
事業概要	1	提供しているサービス
	2	主とするサービスを利用している方の介護度別人数
	3	前年度の収支状況(事業実績)
	4	事業所の経営主体
	5	従業員数(正規、非正規)
人材	6	過去1年間の従業員の採用者数と離職者数
	7	従業員の過不足状況(不足の理由、採用困難な理由)
	8	人材確保のための取組
	9	ワークライフバランスの推進状況(取組内容、育児・介護休業への対応等)
	10	人材育成のための取組(虐待防止、マネジメント人材育成等)
	11	従業員の相談窓口、相談内容(パワハラ、セクハラ等)
危機管理体制	12	災害発生時への対策
	13	災害発生時への対応訓練の実施状況
	14	感染症予防等への取組
サービス向上	15	サービスの質向上への取組
医療との連携	16	医療と介護の連携を進める上で必要と感ずること
事業展開等	17	区からの必要な支援

障害者（児）実態・意向調査の調査項目について

1 目的

平成 29 年度に予定している障害者計画の策定に向け、計画の基礎資料となる障害者（児）の生活実態、サービス事業所の状況を調査するとともに、障害福祉施策への意向を把握するため、実態・意向調査を行う。

2 調査の種類、対象者等

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児及びサービス事業所を対象とした量的調査（アンケート調査）及び区内施設を利用する知的障害者を対象とした質的調査（グループインタビュー調査）を実施する。

(1) 量的調査（アンケート調査）

① 調査種類

- ア 在宅の方
- イ 施設に入所している方
- ウ 障害児
- エ サービス事業所

② 調査対象者

ア 身体障害者実態調査

区内に居住又は区外施設等に入所している身体障害者手帳所持者
約 1,870 人（全体約 4,700 人）

（肢体・内部疾患については無作為抽出、その他の障害については全数）

<内訳>

視覚：約 340 人（全数）、聴覚：約 320 人（全数）、音声・言語：約 60 名（全数）
肢体：約 2,380 人（約 600 人を抽出）、内部：約 1,600 人（約 550 人を抽出）

イ 知的障害者実態調査

区内に居住又は区外施設等に入所している愛の手帳所持者
約 840 人（全数）

ウ 精神障害者実態調査

区内に居住の精神障害者福祉保健手帳所持者
約 1,060 人（全数）

エ 難病患者実態調査

区内に居住の難病患者（医療券所持者）
約 1,600 人（全数）

オ 障害児実態調査（障害児通所支援等受給者証所持者）

約 300 人（全数）

カ 区内事業所

区内にある障害福祉サービス、児童福祉サービス事業を行う事業所
約 80 施設

(2) 質的調査（グループインタビュー調査）

① 調査種類

施設訪問による聞き取り調査

② 調査対象者

区内施設を利用する 18 歳以上の愛の手帳所持者

3 調査項目

(1) 量的調査

別添資料 1 のとおり

(2) 質的調査

別添資料 2 のとおり

4 調査方法

(1) 量的調査

原則、アンケート（郵送配布・郵送回収）方式。ただし、視覚障害者へは、希望により訪問または電話での聞き取り調査を実施する。

(2) 質的調査

区内施設での訪問聞き取りを中心に行う。東洋大学との協働で実施予定。

5 調査時期

(1) 量的調査

平成 28 年 10 月実施予定

(2) 質的調査

平成 28 年 10 月実施予定

6 今後のスケジュール

平成 28 年	9 月	9 月議会（調査項目の報告） 区報 9/25 号
	10 月～11 月	【質的調査】グループインタビュー実施・集計・分析
	10 月～11 月	【量的調査】調査票発送・回収、集計・分析
平成 29 年	1 月	第 2 回障害者部会（調査結果の報告） 第 4 回地域福祉推進本部（調査結果の報告） 第 3 回地域福祉推進協議会（調査結果の報告）
	2 月	2 月議会（調査結果の報告）
	3 月	調査報告書納品

在宅の方調査項目

カテゴリー	設問No.	調査項目
本人について	1	回答者
	2	本人の性別
	3	本人の年齢
	4	手帳の種類
	5	年収
	6	収入の内訳
	7	同居家族
障害と健康について	8	家族等が障害に気づいた時期
	9	(8の回答をうけて)相談相手
	10	該当する疾患・障害
	11	(10で「難病」と回答した場合)病名
	12	(10で「発達障害」と回答した場合)診断名
	13	(10で「発達障害」と回答した場合)問題・困難に気づいた時期
	14	(10で「発達障害」と回答した場合)問題・困難の内容
	15	障害について受診・相談先
	16	かかりつけ医の有無
	17	受診状況
	18	日常生活に必要な介助・支援
	19	(介助・支援が必要な方へ)主な介助・支援者
	20	主な介助・支援者が支援できなくなった場合の対応
相談や福祉の情報について	21	日常生活で困っていること
	22	困ったときの相談相手
	23	福祉の情報の入手先
	24	今後希望する生活
	25	(24で「グループホーム」と回答した場合)何歳で入居したいか
	26	地域で安心して暮らすために必要な施策
	27	区が「こころのバリアフリー」を進めていくために力を入れてほしいこと

福祉サービスについて	28	利用したい、利用しているサービスについて
	28-①	(1)【障害福祉サービス】(訪問系)
	28-②	(2)【障害福祉サービス】(日中活動系)
	28-③	(3)【障害福祉サービス】(居住系)
	28-④	(4)【相談支援】
	28-⑤	(5)【補装具費の支給】
	28-⑥	(6)【地域生活支援事業】
	28-⑦	(7)【日常生活のサービス】
	28-⑧	(8)【就労に関する支援】
	28-⑨	(9)医療に関する支援
	28-⑩	(10)精神障害者を対象とした支援
	28-⑪	(11)難病患者に関する支援
	28-⑫	(12)その他
	29	サービス利用で困っていること
30	介護保険の要支援・要介護認定の有無	
31	(障害福祉サービスを利用している方に対して)サービス等利用計画の作成について	
32	(サービス等利用計画を作成した方に対して)作成した感想	
日中活動や外出について	33	平日の日中の過ごし方
	34	(33で「働いている」と回答した場合)仕事上で困っていること
	35	(33で「特に何もしていない」と回答した場合)その理由
	36	一般就労に必要なこと
	37	休日の過ごし方
	38	外出の頻度
	39	外出の際に困っていること
住まいについて	40	住まいで困っていること
	41	住まいで必要な支援
差別解消について	42	「障害者差別解消法」の合理的配慮を進めるために必要なこと
災害対策について	43	災害発生時に困ること
	44	災害に対する備え
自由意見	45	意見・要望

施設入所している方調査項目

カテゴリー	設問No.	調査項目
本人について	1	回答者(本人か、施設職員か、ご家族か等)
	2	本人の性別
	3	本人の年齢
	4	手帳の種類
	5	年収
	6	年収の内訳
障害の状況について	7	家族等が障害に気づいた時期
	8	(7の回答をうけて)相談相手
	9	該当する疾患・障害
	10	(9で「難病」と回答した場合)病名
	11	(9で「発達障害」と回答した場合)診断名
	12	(9で「発達障害」と回答した場合)問題・困難に気づいた時期
	13	(9で「発達障害」と回答した場合)問題・困難の内容
施設入所について	14	施設の所在地域
	15	施設入所年数
	16	入所の理由
施設での生活について	17	出身世帯に帰る(帰省)ときに困ること
	18	施設生活の満足度
	19	現在の暮らしで困っていること
	20	入所施設に要望すること
	21	休日の過ごし方
	22	外出の頻度
今後の暮らし方について	23	今後希望する生活
	24	(23で「現在の施設で生活したい」と回答した方へ)その理由
	25	(23で「退所したい」と回答した方へ)地域でどのような暮らしをしたいか
	26	(23で「退所したい」と回答した方へ)地域移行支援・地域定着支援を利用したいか
	27	(23で「退所したい」と回答した方へ)どの地域で暮らしたいか
	28	(23で「退所したい」と回答した方へ)暮らす地域にのぞむこと
	29	地域で安心して暮らすために必要な施策について

相談や福祉の情報について	30	困ったときの相談相手
	31	福祉の情報の入手先
差別解消について	32	「障害者差別解消法」の合理的配慮を進めるために必要なこと
自由意見	33	意見・要望

障害児調査項目

カテゴリー	設問No.	調査項目
本人について	1	回答者
	2	本人の性別
	3	本人の年齢
	4	手帳の種類
	5	年収
	6	同居家族
障害と健康について	7	保護者が障害に気づいた時期
	8	保護者等が障害にはじめてわかったときの状況
	9	(8に関して)そのときの相談相手
	10	該当する疾患・障害
	11	(10で「難病・特定疾患」と回答した方へ)病名
	12	(10で「発達障害」と回答した方へ)診断名
	13	治療・相談する医療機関
	14	かかりつけ医の存在
	15	障害等の受診状況
	16	必要な介助・支援
	17	主な介助・支援人
	18	介助者の悩み・不安
相談や福祉の情報について	19	日常生活で困っていること
	20	主な相談相手
	21	福祉の情報の入手先
	22	将来希望する生活
	23	(22で「グループホーム」と回答した場合)何歳で入居したいか
	24	地域で安心して暮らすために必要な施策
	25	区が「心のバリアフリー」を進めていくために力を入れた方がよいこと
福祉サービスについて	26	利用したい、利用しているサービスについて
	26-①	(1)【児童福祉法に基づくサービス】(児童通所支援等)
	26-②	(2)【その他の児童のための支援】
	26-③	(3)【障害福祉サービス】(訪問系)
	26-④	(4)【補装具費の支給】
	26-⑤	(5)【地域生活支援事業】
	26-⑥	(6)【医療に関する支援】
	26-⑦	(7)【日常生活のサービス】
	26-⑧	(8)【障害福祉サービス】(主に18歳以上が利用するサービス)
	26-⑨	(9)【相談支援】
	26-⑩	(10)【地域生活支援事業】
	26-⑪	(11)【就労に関する支援】
	26-⑫	(12)その他
	27	サービス利用で困っていること
28	(児童福祉法に基づくサービスを利用している方に対して)サービス等利用計画の作成について	
29	(サービス等利用計画を作成した方に対して)作成した感想	

教育・保育について	30	主な通園・通学先
	31	(30で「小学校入学前」と回答した家族の方へ)通園生活等で困っていること
	32	(30で「小学校入学前」と回答した家族の方へ)小学校はどの教育機関を希望するか
	33	(30で「学校在学中」と回答した家族の方へ)通学生活等で困っていること
	34	(30で「小学校入学前」または「学校在学中」と回答した家族の方へ)放課後や長期休業中はどのように過ごしているか
	35	(30で「小学校入学前」または「学校在学中」と回答した家族の方へ)放課後や長期休業中はどのように過ごすことを希望するか
	36	(小学校(小学部)または中学校(中学部)に通っている方のご家族の方へ)中学校卒業後に希望する進路
	37	(義務教育を終了した方へ)希望する進路 ※本人の希望と家族の希望をそれぞれ伺う
38	休日や余裕があるときの過ごし方	
外出や住まいについて	39	外出の頻度
	40	外出時に困っていること
	41	住まいに必要な支援
差別解消について	42	「障害者差別解消法」の合理的配慮を進めるために必要なこと
災害対策について	43	災害発生時に困ること
	44	災害に対する備え
自由意見	45	自由意見

サービス事業所調査項目

カテゴリー	設問No.	調査項目
事業運営について	1	事業所の経営主体
	2	事業所の開業年
	3	提供しているサービス
	4	事業所の所在
	5	事業所の利用者数
	6	前年度の事業収支
	7	事業所経営上で重視すること
職員について	8	従業員の過不足状況
	9	従業員の採用者数と離職者数
	10	(8で不足すると答えた事業所に対して)不足と感じる理由
	11	(10で「採用が困難」と答えた事業所に対して)困難な理由
	12	離職原因
	13	人材育成のための取組
	14	どのような研修に参加したか
	15	人材確保のための取組
サービス提供について	16	サービス提供上の課題
	17	サービス利用について利用者や家族から受ける相談・苦情内容
	18	サービス向上のために取り組んでいること
	19	(18で「専門職の配置」を選択した事業所に対して)職種と雇用形態
	20	今後の障害福祉サービス等への参入について
	21	(特定相談支援事業所の指定をとっていない事業所に対して)特定相談支援事業所の指定をとる予定はあるか
	22	指定を取る予定がない場合、その理由
	23	指定特定相談支援事業所についての意見
	24	(一般相談支援事業所の指定をとっていない事業所に対して)一般相談支援事業所の指定をとる予定はあるか
	25	指定を取る予定がない場合、その理由
	26	指定一般相談支援事業所についての意見
	27	新規サービスに参入するうえで課題になること
28	今後の障害者施策で期待すること	
虐待防止について	29	虐待防止への取組について
災害時の対策について	30	災害発生時の対策
感染症対策について	31	感染症予防等への取組
差別解消について	32	「障害者差別解消法」の合理的配慮を進めるために必要なこと
自由意見	33	自由意見

障害者実態調査質的調査（インタビュー調査）について

平成28年度障害者実態調査の実施に当たって、保護者等が当事者の意向を踏まえて記入することが多い知的障害者について、より当事者の意向を把握するため、質的調査（インタビュー調査）を実施する。

1 実施方法

東洋大学福祉社会研究開発センターに本調査を委託し実施する（実際のインタビュー及び調査結果の取りまとめについては、同大学社会学部社会福祉学科 高山教授及び志村教授の指導のもと同ゼミナールの学生が行う。）。

2 調査対象

区内施設を利用する18歳以上の愛の手帳所持者 50~60人程度

3 対象施設（施設利用者の中、文京区に住民登録がある方を対象とする。）

- (1) 大塚福祉作業所（就労移行支援・就労継続支援B型）
- (2) 小石川福祉作業所（就労移行支援・就労継続支援B型）
- (3) 本郷福祉センター（若駒の里）（生活介護）
- (4) は〜と・ピア（生活介護）
- (5) こばん（生活介護）
- (6) だんござかハウス（生活介護）
- (7) ワークショップやまどり（生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援B型）
- (8) 工房わかぎり（就労継続支援B型）
- (9) エルムンド小石川（知的障害者グループホーム・ケアホーム）
- (10) ドリームハウスⅢ・Ⅳ（知的障害者グループホーム・ケアホーム）

4 調査方法

面接法（グループインタビュー）、参与観察

5 調査内容

- (1) 施設内において楽しみにしていることはなにか。
- (2) 余暇（施設外）はどのように過ごしているか。
- (3) 困っている（悩んでいる）ことはなにか。
- (4) 相談相手はだれか。
- (5) 今後の希望（夢）はなにか。

6 調査基準日

平成28年10月1日を基準日として実施する。

健康に関するニーズ調査の調査項目について

1 目的

ニーズ調査の実施により、区民の健康状態や健康管理の方法、健康づくりに関する要望等を把握し、現行の保健医療計画の最終評価資料及び次期保健医療計画（平成30年度～平成35年度）の基礎資料とする。

2 調査対象者及び調査項目

(1) 調査対象者

20歳以上89歳以下の文京区在住者 4,800人（住民基本台帳から無作為抽出）

(2) 調査項目

別添資料のとおり

3 調査方法

アンケート（郵送配布・郵送回収）方式

4 調査時期

平成28年10月実施予定

5 今後のスケジュール

平成28年	9月	9月議会（調査項目の報告） 区報9/25号
	10月	調査票発送・回収
	11月	集計・分析
平成29年	1月	第3回保健部会（調査結果の報告） 第4回地域福祉推進本部（調査結果の報告） 第3回地域福祉推進協議会（調査結果の報告）
	2月	2月議会（調査結果の報告）
	3月	調査報告書納品

健康に関するニーズ調査項目

カテゴリー	設問No.	調査項目
基礎情報	F1	性別
	F2	年齢
	F3	住まいの地域
	F4	仕事
	F5	労働時間
	F6	同居家族の構成
	F7	身長と体重
	F8	加入している健康保険
健康意識	1	主観的な健康感
	2	健康に関する不安の内容
	3	健康に気をつけているかどうか
	3-1	【気をつけている者】健康に気をつけている具体的な内容
	4	健康づくり等に関する知識や情報の収集方法
健康管理	5	生活習慣病の健診等の受診の有無、受診場所
	5-1	【未受診者】受診しなかった理由
	6	がん検診の受診の有無、受診場所
	6-1	【未受診者】受診しなかった理由
	7	通院の有無
	7-1	【通院者】通院理由
体重管理	8	自身の体重に対する意識
	9	過去1ヶ月以内に3kg以上のダイエットをしたか
運動	10	日常の運動習慣の有無
	10-1	【運動習慣がある者】運動内容
	10-2	【運動習慣がある者】運動を行う頻度
	10-3	【運動習慣がある者】1回あたりの運動時間
	10-4	【運動習慣がない者】運動を行っていない理由

カテゴリー	設問No.	調査項目
食生活・食育	11	健康のために食生活で実践していること
	11-1	健康のために栄養について気をつけていること
	11-2	【実践していない、気をつけていない者】実践していない、気をつけていない理由
	12	朝食の摂取頻度
	13	家庭で自ら調理する頻度
	14	1日あたりの野菜の目標摂取量が350g以上であることの認知度
	15	1日あたりの野菜摂取量
	16	食材・調理品選択の際に重視すること
	17	「食育」という言葉の認知度
	18	食に関して重要視していること
睡眠・ストレス	19	睡眠により休養が十分にとれているか
	19-1	【とれていない者】休養が十分とれていない理由
	20	日常生活で悩みやストレスを感じる頻度
	20-1	【悩みやストレスがある者】悩みやストレスの原因
	20-2	【悩みやストレスがある者】悩みやストレスの解消状況
	20-3	【解消できている者】悩みやストレスの解消法
	20-4	【悩みやストレスがある者】悩みやストレスの相談先
	21	これまで好きだったことへの興味の喪失等の有無
	22	精神的不調時の専門機関での相談、治療意向
たばこ	23	たばこが健康に及ぼす影響についての認知度
	24	喫煙経験
	24-1	【喫煙経験者】現在の喫煙状況
	24-2	【喫煙経験者】禁煙意向
	25	飲食店利用時の禁煙・分煙についての意向
アルコール	26	お酒の摂取頻度
	26-1	【週1～2日以上摂取者】1日あたりの摂取量
	26-2	【週1～2日以上摂取者】お酒の摂取頻度や量に関する自身の意識
	27	アルコールの過量摂取による健康障害、社会問題についての認知度

カテゴリー	設問No.	調査項目
歯と口腔	28	歯や歯肉、口腔状態への満足度
	28-1	【満足していない者】歯や歯肉、口腔状態への不満の内容
	29	歯や歯肉、口腔の健康のために実践していること
	30①	むし歯や歯周病と、糖尿病や心臓病との関連についての認知度
	30②	口腔機能低下についての認知度
	30③	摂食・嚥下障害についての認知度
	30④	誤嚥性肺炎についての認知度
	30⑤	8020運動についての認知度
	31	区が実施する歯科検診の受診意向
	31-1	【受診希望者以外の者】受診に向けての要望
受療行動	32	かかりつけ医療機関の有無及び医療機関の種類
	33	かかりつけ歯科医療機関の有無及び歯科医療機関の種類
	34	かかりつけ薬局の有無
	35	夜中に子または孫が急に発熱した場合の行動
地域とのつながり	36①	近所の人との付き合いの程度
	36②	近所で付き合っている人の数
	37	近所同士での助け合いの意識
区の施策	38	区が行っている施策への認知度
	39	今後充実を希望する保健医療施策
	40	区の健康に関する施策への意見等（自由記述）